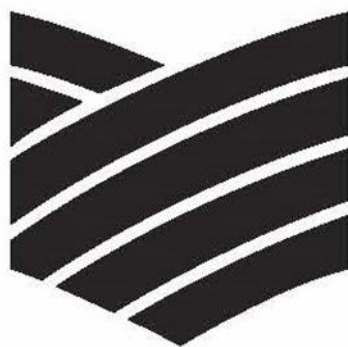


令和 9 年度

総合型選抜学生募集要項



三 重 大 学

自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

学生募集要項に記載のある出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，本学受験生応援サイトにて掲載します。

三重大学受験生応援サイト <https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/>



出願書類の様式は，下記本学受験生応援サイト「学生募集要項」からダウンロードしてください。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/index.html>



2026 年 7 月 16 日訂正

19 ページの「志願理由書の記載方法について」の工学部の説明に誤りがありましたので、以下のとおり訂正いたします。

誤	あなたのこれまでの活動体験について、アピールしたい取り組みを 3 つ以内で記載していただきます。ここで言う活動とは、学校内・学校外の両方を指し、「探究活動・課題研究」、「高大接続事業（本学以外が実施したものでも可）」、「海外留学、海外研修」、「生徒会活動や部活動」、「各種検定」、「ボランティア活動」、「イベント参加」、「コンテスト参加」等を指します。また、高等学校在籍時以外（中学校や高等学校卒業後）での活動体験も可とします。 なお、取り組んだ活動の証明書等を提出していただきますが、証明書がない活動体験については、その活動の責任者に確認を受け、本学様式により証明していただきます。
---	---



正	志望するコースを選んだ理由について、活動報告書に記載した活動と、三重大学工学部の総合型選抜における入学者選抜方針との関連が分かるように記載していただきます。記載する際は、その活動に取り組んだ理由、その活動を通して何が得られたのか、共同で取り組んだ場合は自身の役割を書き、入学後に学びたいことや将来の目標を盛り込んでください。
---	--

目 次

1. 入試日程	1
2. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
3. 学部別募集人員等	7
4. 出願要件	8
5. 出願手続	12
6. 受験票について	23
7. 志願のしかた	23
8. 選抜方法	24
9. 障害等のある入学志願者との事前相談について	35
10. 入学検定料の返還について	36
11. 入学検定料の免除について	37
12. 受験に際しての注意事項	37
13. 不正行為の取扱いについて	38
14. 合格者の発表	38
15. 入学手続	40
16. 入学前教育	41
17. 入学料・授業料の減免，奨学金及び徴収猶予等	41
18. 受験時の宿泊案内	42
19. 総合型選抜情報について	43
20. 個人情報の利用目的について	47

三重大学配置図

1. 入 試 日 程

総合Ⅰ【大学入学共通テストを課さない】

学部	学科・課程・ コース		出願 期間	第1次選考	第1次選考 通知予定日	試験日	合格 発表	
人文学部	文化学科		令和8年 9月1日 (火) ～ 令和8年 9月7日 (月)	書類審査 ※1	令和8年 9月18日 (金)	第2次選考日 令和8年 10月12日 (月)	令和8年 11月2日 (月)	
	法律経済学科							
教育学部	学校教育教 員養成課程	音楽教育 コース						令和8年 9月28日 (月)
		美術教育 コース						
		保健体育 コース						
医学部	看護学科							
工学部	総合 工学科	電気電子工学 コース		-	-	選考日 令和8年 9月27日 (日)		
		応用化学 コース		-	-			
生物資源学部	生物資源 学科	生物資源総合 科学コース		-	-			

※1 教育学部・医学部看護学科について、志願者数が募集人員の3倍を超えた場合にのみ1次選考を実施します。

総合Ⅱ【大学入学共通テストを課す】

学部	学科・課程・コース		出願期間	第1次選考	第1次選考 通知予定日	試験日	選考結果 発表	合格 発表
医学部	医学科		令和8年 9月1日 (火) ～ 令和8年 9月7日 (月)	書類審査 ※2	令和8年 9月28日 (月)	第2次選考日 令和8年 10月12日 (月)	第2次 選考結果 令和8年 11月2日 (月)	令和9年 2月10日 (水)
工学部	総合 工学科	機械工学 コース		第1次選考日 令和8年 9月27日 (日)	-		第1次 選考結果 令和8年 11月2日 (月)	
		情報工学 コース						

※2 医学部医学科について、志願者数が募集人員の4倍を超えた場合にのみ1次選考を実施します。

※3 工学部について、第1次選考において募集人員の2倍程度の合格者を決定します。

※4 総合Ⅱ【大学入学共通テストを課す】を志願する者は、本学が指定する大学入学共通テストの科目を必ず受験すること。

「注」 本学の総合型選抜（総合Ⅰ・総合Ⅱ）に出願した者は、他の総合型選抜、学校推薦型選抜へ出願できません。ただし、結果が不合格だった場合には、各選抜に出願できます。

なお、総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、合否結果が判明しない者は、不合格となった場合に備えて、一般選抜（前期日程・後期日程）に出願することができます。

2. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

三重大大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している（知識・技能）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる（思考力・判断力）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現力）
- 人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している（主体性）
- 他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している（協働性・主体性・多様性）

上記の方針に基づき、学部ごとに適切な選抜方法を定め、実施します。

「人文学部」

—このような人を求めます—

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探究しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持つ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

—入学者選抜方針—

- 総合型選抜（大学入学共通テストを課さない）【総合Ⅰ】

文化学科では、人間の文化または社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心を持ち、それらを深く理解するために必要な専門知識を身につける意欲を持つとともに、探究的な活動に主体的に取り組んだ経験を有する者を対象とします。関心・好奇心と意欲および主体性、ならびに論理的思考力と表現力を志願理由書と面接（プレゼンテーションを含む）で評価し、また基礎学力と論理的思考力、読解力、表現力を筆記試験（小論文）で評価することにより、総合的な選抜をします。

法律経済学科では、社会のしくみや現代社会の諸問題に強い関心・好奇心を持ち、それらを深く理解するために必要な専門知識を身につける意欲を持つとともに、探究的な活動に主体的に取り組んだ経験を有する者を対象とします。関心・好奇心と意欲および主体性、ならびに論理的思考力と表現力を志願理由書と面接（プレゼンテーションを含む）で評価し、また基礎学力と読解力、表現力を筆記試験（英語）で評価することにより、総合的な選抜をします。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

人文学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「（総合判定の参考）」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<人文学部>

選抜方法等			学力の3要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
総合型選抜	総合Ⅰ	志願理由書	○			○	
		志願者評価書					（総合判定の参考）
		調査書					（総合判定の参考）
		面接（プレゼンテーションを含む）	○			○	○
		筆記試験（小論文／英語）	○			○	

「教育学部」

—このような人を求めます—

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人（関心・意欲・態度）
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人（知識・理解）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人（思考・判断）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人（技能・表現）

—入学者選抜方針—

- 総合型選抜（大学入学共通テストを課さない）【総合Ⅰ】

音楽教育，美術教育，保健体育の各コースで募集します（いずれも中等教育選修のみ）。志望する分野における学修への強い熱意と探究心，積極的に主体的に取り組む態度，及び，各分野の中等教育に将来的に貢献する意思の強さを見るために，２段階の個別学力検査（第１次選考；書類審査，第２次選考；プレゼンテーション審査，実技及び面接）を課します。

—各選抜方法における学力の３要素の評価方法—

教育学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し，「（総合判定の参考）」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また，「○」の後に（）で記載した内容は，特に（）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<教育学部>

選抜方法等			学力の３要素				
			①		②		③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力
総合型選抜	総合Ⅰ	活動報告書	○		○		○
		プレゼンテーション	○		○		○（主体性を評価対象とします）
		実技		○	○*		○*
		面接			○		○（主体性を評価対象とします）
		調査書	（総合判定の参考）				
		志願理由書	（総合判定の参考）				

*一部のコースに限る

「医学部」

—このような人を育てます—

医学部における教育に関する方針は，「医療に求められる使命感，倫理観，臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い，人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では，基礎医学，社会医学，臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち，コミュニケーション能力に優れ，幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力，自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力，あるいは地域及び国際社会における健康の増進，疾病の予防に寄与し，人類の保健，繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では，人間の誕生から死に至るまでの，様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう，Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して，広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして，倫理観と責任感を備え，協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち，地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

—このような人を求めます—

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

—入学者選抜方針—

●総合型選抜（大学入学共通テストを課す）【総合Ⅱ】

医学科では、卓越した医学研究をリードする意志を持つ者、または三重県の地域医療のリーダーとなる意志を持つ者を選ぶ。書類、プレゼンテーション及び面接により評価し、大学入学共通テストの成績で、論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価し、アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

●総合型選抜（大学入学共通テストを課さない）【総合Ⅰ】

看護学科では、将来、看護の視点をもちながら、研究・開発・起業し、発信・行動できる意欲・能力又は、看護職者として国際社会で活躍できるような意欲・能力を有しているかを見るために書類審査及び面接を実施します

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

医学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<医学部 医学科>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②			③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合Ⅱ	プレゼンテーション	○		○		○	○
		面接	○		○		○	○
		調査書	○		○		○	○
		志願理由書	○		○		○	○
		活動報告書	○		○		○	○

<医学部 看護学科>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②			③
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合Ⅰ	面接			○		○	○
		調査書						(総合判定の参考)
		志願理由書						○
		活動報告書	○					○

「工 学 部」

—このような人を育てます—

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

—このような人を求めます—

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

—入学者選抜方針—

- 総合型選抜（大学入学共通テストを課さない・課す）【総合Ⅰ・総合Ⅱ】

総合型選抜では、一般選抜とは異なる観点から学習意欲旺盛で進取の気概に富んだ学生を募集します。工学及びその周辺分野に対して強い好奇心と探求心にもとづいて、数学や理科などの基本的な知識を深め、それを多面的に応用できる学生を選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

工学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に () で記載した内容は、特に () の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<工学部 総合工学科 機械工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合Ⅱ	面接	○		○		○	
		調査書						○
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
		活動報告書						○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 総合工学科 電気電子工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合Ⅰ	筆記試験（物理、数学）	○		○		○	
		面接	○		○		○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
		調査書						○
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
		活動報告書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 総合工学科 応用化学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合 I	基本的な化学実験	○			○		○（主体性を評価対象とします）
		小論文	○				○	
		面接	○		○		○	○
		調査書						○
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
		活動報告書						○（主体性・多様性を評価対象とします）

<工学部 総合工学科 情報工学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合 II	面接	○		○		○	○
		調査書	○					○
		志願理由書					○	○（主体性・多様性を評価対象とします）
		活動報告書	○		○		○	○（主体性・多様性を評価対象とします）

「生物資源学部」

—このような人を育てます—

生物資源学部は、地域に根ざした視点に立ちながらも国際的な視野をもち、自然との共存を図りつつ生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために、自然科学分野の基礎知識だけでなく農林水産学、環境科学、生命科学の各分野における専門知識を身に付けることにより、独創性と広い視野を持ち、地域社会だけでなく国際社会にも貢献できる人材の育成を目標にしています。

—このような人を求めます—

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会的創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

—入学者選抜方針—

- 総合型選抜（大学入学共通テストを課さない）【総合 I－紀伊黒潮枠】

自然科学への関心が高く、生物資源学部で学ぶために必要な基礎知識と理解力を持ち、生物資源に関する問題や紀伊黒潮地域の地域課題を解決する意欲のある学生を求めるために、グループディスカッションを含む面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

生物資源学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。
表中の「○」は重点評価対象項目であることを示しています。

<生物資源学部 生物資源学科 生物資源総合科学コース>

選抜方法等			学力の3要素					
			①		②		③	
			知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	総合 I－ 紀伊黒潮枠	グループディスカッションを含む面接	○		○		○	○
		調査書						○
		志願理由書					○	○
		活動報告書					○	○

3. 学部別募集人員等

学部	学科・課程・コース等		募集人員等 「注1」	大学入学 共通 テスト 「注2」	対象とする高等学校若しく は中等教育学校等の学科	
人文学部	総合Ⅰ	文化学科	7	×	全ての学科	
		法律経済学科	5			
	計		12			
教育学部	総合Ⅰ	学校教育教員養成課程 音楽教育コース（中等教育選修）	1	×	全ての学科	
		学校教育教員養成課程 美術教育コース（中等教育選修）	2			
		学校教育教員養成課程 保健体育コース（中等教育選修）	2			
	計		5			
医学部	総合Ⅱ	医学科	5	○	全ての学科	
	総合Ⅰ	看護学科	5	×	全ての学科	
	計		10			
工学部	総合Ⅰ	総合工学科 電気電子工学コース	8	×	全ての学科	
		総合工学科 応用化学コース	10			
	総合Ⅱ	総合工学科 機械工学コース	5	○		
		総合工学科 情報工学コース	5			
	計		28			
	生物資源学部	総合Ⅰ－ 紀伊黒潮枠	生物資源学科	15		×
生物資源総合科学コース						
計		15				
合 計			70			

「注1」 合格者が募集人員に達しなかった場合は、一般選抜及び学校推薦型選抜で調整します。

「注2」 「大学入学共通テスト」欄について、○印は大学入学共通テストを課す総合型選抜を示し、
×印は大学入学共通テストを課さない総合型選抜を示します。

「注3」 本学の総合型選抜（総合Ⅰ・総合Ⅱ）に出願した者は、他の総合型選抜、学校推薦型選抜へ出願
できません。ただし、結果が不合格だった場合には、各選抜に出願できます。
なお、総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、合否結果が判明しない者は、不合格となった場合に備え
て、一般選抜（前期日程・後期日程）に出願することができます。

4. 出 願 要 件

◎人 文 学 部

課程・学科・コース	区分	出 願 要 件
文化学科 (募集人員 7 名)	総合 I	次の (1) ～ (2) のすべての資格・要件を満たす者 (1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を令和9年3月に卒業見込みの者 ②学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者 ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
法律経済学科 (募集人員 5 名)		

◎教 育 学 部

課程・学科・コース	区分	出 願 要 件
音楽教育 コース (中等教育選修) (募集人員 1 名)	総合 I	次の (1) ～ (2) のすべての資格・要件を満たす者 (1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者又は令和9年3月に卒業見込みの者 ②学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和8年度中に卒業見込みの者 ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和8年度中に修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
美術教育 コース (中等教育選修) (募集人員 2 名)		
保健体育 コース (中等教育選修) (募集人員 2 名)		

◎医 学 部

課程・学科・ コース	区分	出 願 要 件
医学科 〔募集人員 5 名〕	総 合 Ⅱ	次の（1）～（5）のすべての資格・要件を満たす者 （1）次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を令和 7 年 3 月以降に卒業した者又は令和 9 年 3 月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 6 年 3 月以降に修了した者又は令和 8 年度中に修了又は修了見込みの者 （2）合格した場合，入学することを確約できる者 （3）令和 9 年度大学入学共通テストにおいて，本学が指定した教科・科目を受験する者 （4）高等学校または中等教育学校の学習成績概評（評定平均値）が 3.5 以上の者 （5）次のいずれかに該当する者 ①国際科学オリンピック（※ 1）に日本代表として選抜された者，又は日本代表最終選考等で優秀な成績（※ 2）を収めた者 ②三重ジュニアドクター育成塾を修了した者 ③校外地域社会活動（ボランティア活動，社会活動，環境保全活動）（※ 3）に関する表彰や，実績を証明する書類を提出できる者 ④実用英語技能検定 1 級を取得した者 （※1）国際科学オリンピックは，国際数学オリンピック，国際化学オリンピック，国際生物学オリンピック，国際物理オリンピック，国際地学オリンピックに限ります。 （※2）日本代表最終選考等で優秀な成績とは，具体的には以下とします。 数 学：日本数学オリンピック本選出場（予選 A ランク） 化 学：化学グランプリ二次選考出場 生物学：日本生物学オリンピック本選出場 物 理：全国物理コンテスト 物理チャレンジ 第 2 チャレンジ出場 地 学：日本地学オリンピック本選出場 （※3）校外地域社会活動は，志願者が在籍していた（している）小学校，中学校，高等学校または中等教育学校（日本国外の教育機関も含む）以外が主体となって行う活動とし，種別・日数は問わない。

課程・学科・コース	区分	出 願 要 件																		
看護学科 〔募集人員〕 5 名	総合 I	次の（１）～（４）のすべての資格・要件を満たす者 （１）次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を令和４年３月以降に卒業した者又は令和９年３月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和４年３月以降に修了した者又は令和８年度中に修了見込みの者 （２）合格した場合、入学することを確約できる者 （３）高等学校もしくは中等教育学校の国語、地歴または公民、数学、理科、外国語の学習成績の状況が各 3.5 以上かつ同教科の２科目以上は 4.0 以上ある者 （「出願可」となる「学習成績の状況」の例：国語 4.0、地歴 3.3、公民 3.5、数学 3.5、理科 3.5、外国語 4.0） （４）英語４技能検定の資格・検定試験において、次のいずれかの成績を修めた者又は資格を有する者																		
		<table><tr><th>検定試験・各種名称</th><th>スコア・等級（英語系検定の適用区分：CEFR 対照表 B1 レベル以上）</th></tr><tr><td>ケンブリッジ英語検定 ※1</td><td>140 以上</td></tr><tr><td>実用英語技能検定 ※2</td><td>2 級以上</td></tr><tr><td>GTEC ※3</td><td>930 以上</td></tr><tr><td>IELTS ※4</td><td>4.0 以上</td></tr><tr><td>TEAP</td><td>225 以上</td></tr><tr><td>TEAP CBT</td><td>420 以上</td></tr><tr><td>TOEFL iBT ※5</td><td>42 以上</td></tr><tr><td>TOEIC L&R/TOEIC S&W ※6</td><td>1150 以上</td></tr></table>	検定試験・各種名称	スコア・等級（英語系検定の適用区分：CEFR 対照表 B1 レベル以上）	ケンブリッジ英語検定 ※1	140 以上	実用英語技能検定 ※2	2 級以上	GTEC ※3	930 以上	IELTS ※4	4.0 以上	TEAP	225 以上	TEAP CBT	420 以上	TOEFL iBT ※5	42 以上	TOEIC L&R/TOEIC S&W ※6	1150 以上
		検定試験・各種名称	スコア・等級（英語系検定の適用区分：CEFR 対照表 B1 レベル以上）																	
		ケンブリッジ英語検定 ※1	140 以上																	
		実用英語技能検定 ※2	2 級以上																	
		GTEC ※3	930 以上																	
		IELTS ※4	4.0 以上																	
		TEAP	225 以上																	
		TEAP CBT	420 以上																	
		TOEFL iBT ※5	42 以上																	
TOEIC L&R/TOEIC S&W ※6	1150 以上																			
※1 対象となる試験名は、以下のとおりです。 A2Key, A2Key for Schools, B1Preliminary, B1Preliminary for Schools, B2First, B2First for Schools, C1Advanced, C2Proficiency																				
※2 「従来型の英検」、「英検 S-CBT」（「英検 CBT」、「英検 1day S-CBT」を含む）、「英検 S-Interview」を含みます。いずれも級の合格のみで判断し、英検 CSE スコアは用いません。																				
※3 「CBT タイプ」を含みます。アセスメント版は対象としません。																				
※4 「Computer-delivered IELTS Academic」を含みます。																				
※5 TOEFL iBT®テストの Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します（My Best スコアは活用しません。）。																				
※6 TOEIC L&R/TOEIC S&W については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定する。IP テスト（団体受験）の成績は対象としません。																				

◎工 学 部

課程・学科・コース	区分	出 願 要 件
総合工学科 電気電子工学コース (募集人員 8 名)	総合 I	次の (1) ～ (3) のすべての資格・要件を満たす者 (1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を令和 4 年 3 月以降に卒業した者又は令和 9 年 3 月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 3 月以降に修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者 (3) 高等学校もしくは中等教育学校の全体の学習成績の状況が 3.5 以上である者
総合工学科 応用化学コース (募集人員 10 名)		
総合工学科 機械工学コース (募集人員 5 名)	総合 II	次の (1) ～ (4) のすべての資格・要件を満たす者 (1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校もしくは中等教育学校を令和 4 年 3 月以降に卒業した者又は令和 9 年 3 月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 4 年 3 月以降に修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者 (3) 令和 9 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験する者 (4) 高等学校または中等教育学校の全体の学習成績の状況が 3.5 以上の者
総合工学科 情報工学コース (募集人員 5 名)		

◎生物資源学部

課程・学科・コース	区分	出 願 要 件
生物資源学科 生物資源総合科学 コース (募集人員 15 名)	総合 I 紀伊黒潮 枠	次の (1) ～ (4) のすべての資格・要件を満たす者 (1) 三重県、愛知県、奈良県、和歌山県の高等学校もしくは中等教育学校を令和8年3月以降に卒業した者、又は令和9年3月に卒業見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者 (3) 高等学校もしくは中等教育学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者 (4) 紀伊黒潮地域の地域課題を理解し、同地域の地域共創に強い関心・意欲を有する者

5. 出 願 手 続

(1) 出願方法

<注意>

1. インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続き完了にはなりません。出願期間内に必要な出願書類等が到着するように、簡易書留速達で郵送する必要があります。なお、大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願する者は、成績請求情報提供手続きも必ず行ってください。
2. インターネット出願サイトでの志願者情報登録後、48 時間以内に入学検定料を支払う必要があります。(ただし、出願期間最終日の 17 時までとなります。)
3. 上記 1 及び 2 を考慮し、余裕を持ってインターネット出願を行ってください。

インターネット出願の流れ

Step1 インターネット出願登録	パソコン・スマートフォン等で本学受験生応援サイトから「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録してください。
Step2 入学検定料 (17,000 円) の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って、検定料をお支払いください。
Step3 必要書類等の準備・送付	インターネット出願サイトから出願確認票等を印刷し、提出が必要な出願書類等を封筒に入れて送付してください。
Step4 成績請求情報提供手続き	※総合型選抜（総合Ⅱ）受験者のみ 大学入学共通テストの成績情報を提供いただくための手続きです。 14～15 ページを参照して、必ず期間内（令和 8 年 12 月 4 日（金）17:00～12 月 18 日（金）17:00）に手続きしてください。

(2) 出願期間等

学部・区分		期間		
		出願システム 入力期間	入学検定料 の支払い	出願期間 (提出が必要な出願書類等の郵送)
人 文 学 部	総 合 I	令和 8 年 8 月 26 日 (水) 9 時 ～ 9 月 7 日 (月) 17 時まで	システム入力後 48 時間以内 ※ただし、 9 月 7 日 (月) 17 時まで	令和 8 年 9 月 1 日 (火) ～ 9 月 7 日 (月) 【当日消印有効】 ※郵送のみ受理します。(出願期間後に発 送されたものは受理しません。ただし、9 月 7 日 (月) 以前の発信局消印がある「簡 易書留速達」に限り受理します。)
教 育 学 部				
医学部看護学科				
工 学 部				
生 物 資 源 学 部				
医 学 部 医 学 科	総 合 II			
工 学 部				

注意事項

上記期間中に、インターネット出願登録と入学検定料の支払いを済ませ、なおかつ必要書類等が本学に到着していなければいけません。簡易書留速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任を負いません。

(3) インターネット出願のために準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校、図書館等のパソコン等から出願してください。
印刷環境 (カラー推奨)	郵送が必要な書類を A4 用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は、学校、図書館、コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。 カラー印刷ができない場合は、モノクロ印刷でも構いません。
メールの設定	出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 @sak-sak.net.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
提出が必要な出願書類等	17～18 ページ参照の上、提出期限内に間に合うようあらかじめご用意ください。
顔写真データ	出願情報の登録の際に、顔写真データのアップロードが必要になりますので、あらかじめ準備してください。 ・出願日前 6 ヶ月以内に撮影した、無背景・上三分身・無帽・正面向きのもの ・ファイル形式は JPEG または JPG 形式 ・縦 4×横 3 の比率のもの ※出願サイトに写真データをアップロードする際に、写真の回転・拡大

	大・縮小等を行い、縦4×横3のサイズに切り出すこともできます。 ※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。 画像が粗くなり、本人確認できない場合があります。
封筒	必要書類等郵送のために、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。

(4) 出願手順の手順

本学受験生応援サイトから「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。

「インターネット出願サイト」

URL <https://www.mie-u.ac.jp/exam/internet/>



Step1 インターネット出願登録

- インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Q&A」等を必ず確認してください。
- 画面に従って、出願登録を行ってください。
- 確認画面で登録内容に間違いがないか、確認してください。

※出願登録完了後の登録内容の変更はできませんので、登録した内容を十分に確認してください。

Step2 入学検定料の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。上記(2)出願期間等に記載された支払い期限までにお支払いください。検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

A) クレジットカード・ネットバンキング

画面に従って、支払い手続きを行ってください。

B) 指定のコンビニエンスストア及び pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関 ATM

- 支払い方法を選択し、表示される番号（出願受付番号とは別の番号）をメモするか、画面を印刷してください。
- メモした番号等を使用し、コンビニエンスストア、金融機関で支払い手続きを行ってください。

Step3 必要書類等の準備

A4 サイズの白の用紙で、「出願確認票」印刷（カラー推奨）してください。

「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷して封筒に貼り付けた上、提出が必要な出願書類等（17～18 ページ(9) 提出が必要な出願書類等参照）を封筒に入れて準備してください。

Step4 大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願する場合

大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願する場合、本学のインターネット出願時に成績請求情報（注1）をご提供いただくための手続きが必要です。手続きの方式として、一般的に「Web 方式」及び「チケット方式」がありますが、本学では「Web 方式」のみ採用しています。大学入学共通テスト「受験案内」にある「E 志望大学への出願に係る手続」を参照の上、下記のとおり手続きを行ってください。この手続きは医学部医学科（総合Ⅱ）及び工学部（総合Ⅱ）は、出願後に行っていただく必要があります。令和8年12月4日（金）17:00～令和8年12月18日（金）17:00の期間中に下記の手順に従って必ず手続きしてください。この手続きを期日に行わない場合、総合型選抜の合否判定の対象としません。

- ①「共通テスト出願サイト」から「申込番号」等を確認してください。

②本学「インターネット出願サイト」上にて「申込番号」等（注2）を入力してください。

注1：成績請求情報とは，各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

注2：「申込番号」等とは，共通テスト出願サイトのマイページより確認できる「ユーザ ID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」のことを指します。

(5) 入学検定料の支払い方法

支払い方法は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、銀行 ATM（ペイジー）が利用可能です。それぞれ手続等注意事項を確認の上、支払い方法を選択してください。詳しい支払い方法については、出願情報登録後の「お支払い方法選択」で選択した支払い方法の画面で確認してください。

検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

支 払 方 法	取 扱 機 関 等	備 考
クレジットカード	Visa, Mastercard, American Express, JCB, Diners Club	支払い方法は、一括払いのみです。
ネットバンキング	楽天銀行, au じぶん銀行, pay-easy 対応 ネットバンキング	事前に金融機関にて口座の開設, 申し込みが必要です。
コンビニエンスストア	セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, デイリーヤマザキ・デイリーストア, セイコーマート	支払い方法は現金のみです。
銀行 ATM（ペイジー）	ゆうちょ銀行, みずほ銀行, 三菱 UFJ 銀行, 三井住友銀行, りそな銀行, 静岡銀行, スルガ銀行, 清水銀行, 大垣共立銀行, 十六銀行, あいち銀行, 名古屋銀行, 百五銀行, 三十三銀行 他	取扱い金融機関の pay-easy マークの付いた ATM で支払うことができます。

【インターネット出願に関わる注意事項】

- 「出願受付番号」は、受験番号ではありません。
- インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正・変更は一切できませんので、誤入力のないよう注意してください。検定料支払い前に誤入力等に気がついた場合は、検定料を支払わずにもう一度新たに最初からやり直してください。
- インターネット出願登録完了後、支払い期限までに検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願受付は完了しません。

(6) 大学入学共通テストを課す総合型選抜（総合Ⅱ）志願者への注意点

本学の大学入学共通テストを課す選抜に出願する者で、入金後に操作の誤り等により手続きを取り消したい場合は、速やかに三重大学入試チームに連絡し、取消の可否を確認してください。出願書類を受理した後では、取消を行うことはできません。また、上記の場合、取消の可否確認を受ける前に、大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で「取消」操作をしても、出願を取り下げたことにならないため、ご注意ください。

(9) 提出が必要な出願書類等

書	類 等	対象者	摘 要
①	出 願 確 認 票	全員	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から出願確認票を印刷してください。 大学入学共通テストを課す総合型選抜（総合Ⅱ）の志願者は、「令和 9 年度大学入学共通テスト成績請求情報（国公立総合型選抜用）」の提供手続き（14～15 ページ参照）を必ず行ってください。 【写真】 出願日前 6 ヶ月以内に撮影した、無背景、上三分身、無帽、正面向きのものをインターネット出願サイトにアップロードしてください。
②	調 査 書 （厳封されたもの）		文部科学大臣の定めた様式により、出身学校長が作成した調査書を提出してください（親展としてください）。過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。 出身学校の事情（廃校及び被災者を含む。）により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績通知表又は成績通信簿の 2 点を、調査書に代えて提出してください。これら 2 点も提出できない場合は、学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。なお、「成績通知表又は成績通信簿」については、これらに相当する「成績証明書」又は「単位修得証明書」をもって代えることができます。
③	志 願 理 由 書		本学所定の用紙。記載方法は「(11)志願理由書の記載方法について」を参照してください。
④	活 動 報 告 書	該当者のみ	本学所定の用紙。記載方法は「(12)活動報告書（人文学部は志願者評価書）の記載方法」を参照してください。
⑤	志 願 者 評 価 書		
⑥	健 康 状 態 調 査		本学所定の用紙。 保健体育コースの志願者は提出してください。実技検査を安全に実施するために必要ですので、すべての項目について正確に記入してください。
⑦	選 択 曲 目 等 申 告 書		本学所定の用紙。 音楽教育コースの志願者は提出してください。なお、楽譜のコピー等についても併せて提出してください（「教育学部実技検査の課題又は範囲等」のページ参照）。
⑧	検定・資格試験合格書、 証 明 書 等 の 写 し		活動の根拠となる資料のみを提出してください。
⑨	プレゼンテーション 資 料		医学部医学科の志願者は提出してください。提出方法等は「令和 9 年度三重大学総合型選抜プレゼンテーション資料について」を参照。
⑩	活 動 実 績 証 明 書		本学所定の用紙。 医学部医学科及び医学部看護学科、工学部、生物資源学部の志願者は提出してください。 ⑧の証明書が提出できない場合は、活動や主催者などの責任者の確認を受けた書類を提出してください。
⑪	健 康 診 断 書		出願期間中に外国に居住している者（日本国籍を有する者を含む）で、受験するために渡日する者は、健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。健康診断書は、出願期間の初日の時点から起算して 6 か月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとします。健康診断書の様式は、本学受験生応援サイトの入試情報（<URL> https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/health/）よりダウンロードしてください。

		い。 なお、入国前結核スクリーニング対象国の方については必要書類が変わりますので上記の URL から確認をしてください。 また、健康診断書の判定は次のとおり行います。 本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し、結核感染等が確認された場合には、入学試験期日の2週間前までに新たに健康診断書を提出し、「感染のおそれがない」と認められない限り、入学試験を受験することはできません。 上記の事由により、受験できなかった者については、入学検定料を返還いたします。
--	--	--

注意事項

- ① 出願書類の様式は、下記本学受験生応援サイト「学生募集要項」からダウンロードしてください。
<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/index.html>
- ② 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
また、出願書類に不正の事実があった場合も同様です。
- ③ 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので注意してください。
- ④ 出願書類の記載にあたり、指定がない場合に限り、パソコン等による印字も可とします。
- ⑤ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。



(10) 提出が必要な書類等の提出先及び提出方法

- ① 提出封筒の準備
 - (ア) 必ず、角形2号封筒（横24cm×縦33.2cmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。長形3号封筒（横12cm×縦23.5cm）等は使用できません。
 - (イ) 出願登録完了後、再度インターネット出願サイトにログインし、出願状況確認画面から、「出願確認票」と「封筒貼付用ラベル」を印刷して、「封筒貼付用ラベル」を（ア）の封筒の表（宛名）面に貼付してください。
- ② 提出が必要な出願書類等の封入
17～18 ページ(9) 提出が必要な出願書類等を確認し、封入してください。
- ③ 郵便で送付
簡易書留速達で郵送してください。

提出先・お問い合わせ先
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学学務部入試チーム
電話：059-231-9063
平日 8:30～17:15/土日祝・年末年始除く
メール：nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

(11) 志願理由書の記載方法について

学部・学科等	志願理由書
人文学部	①高校あるいはその他の場所で取り組んだ「探究的な活動」の具体的内容 ②その「探究的な活動」を通じて得た学びを、入学後の大学での学びにどのように生かしていきたいと考えているか ・ここでの「探究的な活動」は、高校でのいわゆる「総合的な探究の時間」における活動に限定されません。高校のクラブ活動等の課外活動での取り組みや、高校以外の場所で行った研究活動や地域活動など、あらゆる「探究的な活動」を含みます。 ・「探究的な活動」のテーマや内容は、必ずしも本学部の2つの学科（文化学科および法律経済学科）の学問分野に一致している必要はありません。その活動を通じて感じたこと、考えたこと、学んだことが、大学入学後に学びたいこととどのように結びついているかが説明できれば、テーマ自体は自然科学系のものでも構いません。 ・志願理由書には、活動の根拠となる資料を添付することもできます。出願を検討している人は、資料を保存しておいてください。 ・第2次選抜の面接に含まれるプレゼンテーションでは、この志願理由書に記載した内容について説明してもらいます。 ・①と②をあわせて2,000字程度。必要に応じて図表や写真を入れてもかまいません（図表や写真は字数に含めません）。 ・様式の設定に従い、文字の大きさは11ポイント、明朝体の書式でパソコン等により記入してください。次ページを「1」とするページ番号を下段に入れ、次ページ以降を片面印刷して左端をステープラー（ホチキス）で2箇所とめて提出してください。
教育学部	教育学部および志望するコースを選んだ理由について、記載していただきます。三重大学教育学部の総合型選抜における入学者選抜方針との関連がわかるように、大学入学後に学びたいこと、および将来どのような教員になりたいと考えているかについて記載してください。
医学部医学科	卓越した医学研究をリードする意志を持つ、または三重県の地域医療のリーダーとなる意志を持つ人材を総合型選抜で募集します。志願理由書でどちらの意志があるかを明示してください。この他、志願理由書では、これまで取り組んできた具体的内容やその活動を通じて得られた体験や学びを将来どのように活用しようと考えているのかわかるように注意しながら記載してください。
医学部看護学科	①医学部看護学科の＜総合型選抜における入学者選抜方針＞を踏まえ、医学部看護学科を志願する理由 ②大学入学後、看護学についてどのように学びたいと考えているか
工学部	志望するコースを選んだ理由について、活動報告書に記載した活動と、三重大学工学部の総合型選抜における入学者選抜方針との関連が分かるように記載していただきます。記載する際は、その活動に取り組んだ理由、その活動を通して何が得られたのか、共同で取り組んだ場合は自身の役割を書き、入学後に学びたいことや将来の目標を盛り込んでください。
生物資源学部	本コースを志願する理由について、出願要件（4）「紀伊黒潮地域の地域課題を理解し、同地域の地域共創に強い関心・意欲を有する者」との関連がわかるように記載してください。

(12)活動報告書（人文学部は志願者評価書）の記載方法

学部・学科等	活動報告書（人文学部は志願者評価書）
人文学部	・志願者の「探究的な活動」の取り組みについて最もよく知る人、客観的に評価できる人に作成を依頼してください。 ・作成者は、志願者の担任の先生に限定されません。「総合的な探究の時間」の活動であれば、その科目を担当して志願者を評価された先生、クラブ活動であればクラブの顧問の先生、学校外での活動であれば、その活動の責任者や、活動でお世話になった方など、最もふさわしい人を選んでください。 ・作成者には、主として以下の内容について書いてもらいます。 ① 志願者と作成者との関係 ② 志願者が行った活動の内容 ③ 活動における志願者本人の関わり方や活動を通じた成果 ④ 志願者の学力、人柄など、特に評価できる点 ○志願者評価書を作成依頼する場合は以下の点に留意すること。 ・志願者評価書作成者にく総合型選抜における入学者選抜方針」と志願者が作成した「志願理由書」を参照の上、客観的立場から「志願者評価書」の作成依頼をすること。なお、「志願者評価書」は、「志願理由書」の相当性や妥当性を担保するためのものであり、それ自体を点数化するものではない。 ・文字は明朝体の11ポイントの書式でパソコン等により作成、志願者評価書作成者の自署欄を含めA4用紙2ページ以内の両面印刷とし、志願者評価書の末尾に作成者の署名捺印の上、厳封（封筒の糊付け箇所に志願者評価書に使用した印鑑により割印する）すること。 ・記載内容について問い合わせをする場合があるので、必ず志願者評価書作成者の自署とともに連絡先の記入依頼をすること。
教育学部	志願者には、これまでに取り組んできた活動について、アピールしたい取り組みを最大で5つまで記載していただきます。ここで言う活動とは、学校内・学校外の両方を指し、「これまでの探究活動・課題研究」、「高大接続事業（本学以外で実施されたものも可）」、「海外留学、海外研修または国際交流事業」、「生徒会活動、部活動等」、「各種検定」、「ボランティア活動」等を指します。 これらの活動については、高校在籍時以外（中学校在籍時や高校卒業後など）での体験も可とします。これらの活動に取り組んだことを証明できる書類がある場合には、その書類を添付いただくことも可能です。 なお、記載する活動は、必ずしも志望するコースの学問分野に一致している必要はありません。「選択理由」の欄に、その活動を通じて感じたこと、考えたこと、学んだことが、大学入学後に学びたいこと、学校の教員を目指すこととどのように結びつくと考えているかを記載してください。
医学部医学科	次のいずれかに該当する者を出願要件の一つとしております。活動報告書には、どの要件に該当するか記載したうえで、その活動内容について簡潔に説明してください。また、これらの活動の根拠となる資料は必ず添付してください。 ①国際科学オリンピック（※1）に日本代表として選抜された者、または日本代表最終選考等で優秀な成績（※2）を収めた者 ②三重ジュニアドクター育成塾を修了した者 ③校外地域社会活動（ボランティア活動、社会活動、環境保全活動）（※3）に関する表彰や、実績を証明する書類を提出できる者（※4） ④実用英語技能検定1級を取得した者 （※1）国際科学オリンピックは、国際数学オリンピック、国際化学オリンピック、国際生物学オリンピック、国際物理オリンピック、国際地学オリンピックに限ります。

	(※2) 日本代表最終選考等で優秀な成績とは、具体的に以下とします。 数 学：日本数学オリンピック本選出場（予選 A ランク） 化 学：化学グランプリ二次選考出場 生物学：日本生物学オリンピック本選出場 物 理：全国物理コンテスト 物理チャレンジ 第 2 チャレンジ出場 地 学：日本地学オリンピック本選出場 (※3) 校外地域社会活動は、志願者が在籍していた（している）小学校、中学校、高等学校または中等教育学校（日本国外の教育機関を含む）以外が主体となつて行う活動とし、種別・日数は問わない。 (※4) 校外地域社会活動への参加証明や表彰などの具体的な公的書類が存在しない場合は、当該活動の責任者による証明書の提出も認めます。証明書については所定の書式があるので、その形式にしたがって記載してください。 ・第 2 次選考では、この志願理由書および活動報告書に記載した内容について説明していただきます。
医学部看護学科	医学部看護学科の＜総合型選抜における入学者の選抜方針＞を踏まえた、高等学校入学以降の活動内容（なお、高等学校入学以前から継続している活動も含む。）と実績 上記を踏まえ、活動実績は、次の点に留意して記入してください。 1. 主な活動を 5 つまで記入してください。（英語に関連する項目は、出願要件の成績、資格と重複可） 2. 自身にとって重要だと考える順に、活動実績を記入してください。 3. 各項目で記載した活動の種類は、「授業・課外活動」または「学外の自主的な活動」のどちらかを選択してください。 4. 活動に対する証明方法は、「賞状や各種活動が証明できるもの」または「活動実績証明書」のいずれかを選んでください。（各種証明書の提出が必要です。） 5. 選択理由は＜総合型選抜における入学者の選抜方針＞に照らして記入してください。
工学部	あなたのこれまでの活動体験について、アピールしたい取り組みを 3 つ以内で記載していただきます。ここで言う活動とは、学校内・学校外の両方を指し、「探究活動・課題研究」、「高大接続事業（本学以外が実施したものでも可）」、「海外留学、海外研修」、「生徒会活動や部活動」、「各種検定」、「ボランティア活動」、「イベント参加」、「コンテスト参加」等を指します。また、高等学校在籍時以外（中学校や高等学校卒業後）での活動体験も可とします。 なお、取り組んだ活動の証明書等を提出していただきますが、証明書がない活動体験については、その活動の責任者に確認を受け、本学様式により証明していただきます。 情報工学コース志願者は、上記の活動報告書で記載した取り組み以外で、下記の指定する資格を所持している場合、その写しを提出してください。（任意提出） ・公益財団法人日本数学検定協会が実施する数学検定の準 1 級以上に合格している場合は、その合格証 ・独立行政法人情報処理推進機構が実施する国家試験のいずれかに合格している場合は、その合格証書（または合格証明書）の写し ・公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検）の準 2 級以上に合格している場合は、その合格証明書の写し ・TOEIC® Listening & Reading 公開テストの受験経験がある場合は、その公式認定証 ・その他、強い自己アピールにつながる受賞、資格、検定試験、留学/ボランティア経験などを有している場合は、それらを公的に証明できる書類等

生物資源学部	活動報告書では，入学者選抜方針に沿ったこれまでの探究活動，課題研究，高大連携事業，その他の活動実績を記載してください。なお，その他の活動実績は，強い自己アピールにつながる受賞歴，資格，検定試験，留学/ボランティア経験などの事項が該当します。 記載された活動に関する証明書類の提出をお願いいたします。証明書がない活動体験については，その活動の責任者に確認を受け，本学様式により証明していただきます。
--------	--

6. 受験票について

インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認されると、本学からメールが届き、受験票の印刷が可能になります。再度インターネット出願サイトにアクセスし、受験票を白色の A4 用紙で印刷し、内容を熟読の上、試験当日必ず持参してください。本学からの受験票の交付（郵送）はありません。受験票を印刷したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。

万一、記載内容に誤りがある、又は出願手続きをしたが選抜期日 1 週間前となっても受験票が印刷できない場合には、三重大学学務部入試チーム（電話：059-231-9063）まで連絡してください。

7. 志願のしかた

本学の総合型選抜（総合Ⅰ・総合Ⅱ）に出願した者は、他の総合型選抜、学校推薦型選抜へ出願できません。ただし、結果が不合格だった場合には、各選抜に出願できます。

なお、総合型選抜（総合Ⅱ）に出願し、合否結果が判明しない者は、不合格となった場合に備えて、一般選抜（前期日程・後期日程）に出願することができます。

◎ 人文学部

文化学科又は法律経済学科から 1 つを選び出願してください。

◎ 教育学部

音楽教育コース、美術教育コース又は保健体育コースから 1 つを選び出願してください。

◎ 医学部

医学科又は看護学科から 1 つを選び出願してください。

◎ 工学部

機械工学コース、電気電子工学コース、応用化学コース又は情報工学コースから 1 つを選び出願してください。

◎ 生物資源学部

生物資源総合科学コースを選び、出願してください。

8. 選 抜 方 法

◎ 大学入学共通テストを課さない

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点									
人文学部	文化学科	総合Ⅰ	令和8年 9月18日(金) (第1次選考 結果通知日)	【第1次選考】 出願書類（志願理由書，志願者評価書，調査書等）の内容を総合して行います。 志願理由書は，人間の文化または社会の動きやしくみに関する関心・好奇心と意欲及び主体性，ならびに論理的思考力と表現力を評価するために用います。 志願者評価書，調査書等は総合判定の参考とします。	出願書類	100								
				【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対して，出願書類，筆記試験（小論文）及び面接（プレゼンテーションを含む）（※1）の結果を総合して行います。 <table><tr><th>教科等</th><th>時 間</th><th>試験場</th></tr><tr><td>小論文</td><td>9:30～11:00</td><td rowspan="2">人文学部</td></tr><tr><td>面 接</td><td>12:30～</td></tr></table> 小論文は，課題文をもとに，基礎学力と論理的思考力，読解力，表現力をはかる問題を出します。 面接は，高校の間に受験者自身が取り組んだ探究的な活動についてプレゼンテーションを実施してもらい，それに基づいて質疑応答を行います。	教科等	時 間	試験場	小論文	9:30～11:00	人文学部	面 接	12:30～	小論文	100
					教科等	時 間	試験場							
	小論文			9:30～11:00	人文学部									
	面 接			12:30～										
	面接(プレゼンテーション含む)			100										
合計	200													
法律経済学科		令和8年 10月12日 (月・祝) (第2次選考試験日)	【第1次選考】 出願書類（志願理由書，志願者評価書，調査書等）の内容を総合して行います。 志願理由書は，社会のしくみや現代社会の諸問題に関する関心・好奇心と意欲及び主体性，ならびに論理的思考力と表現力を評価するために用います。 志願者評価書，調査書等は総合判定の参考とします。	出願書類	100									
			【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対して，出願書類，筆記試験（英語）及び面接（プレゼンテーションを含む）（※1）の結果を総合して行います。 <table><tr><th>教科等</th><th>時 間</th><th>試験場</th></tr><tr><td>外国語（英語）</td><td>10:00～11:00</td><td rowspan="2">人文学部</td></tr><tr><td>面 接</td><td>12:30～</td></tr></table> 外国語（英語）は，英語の課題文をもとに，基礎学力と読解力，表現力をはかるための筆記試験を課します。 面接は，高校の間に受験者自身が取り組んだ探究的な活動についてプレゼンテーションを実施してもらい，それに基づいて質疑応答を行います。	教科等	時 間	試験場	外国語（英語）	10:00～11:00	人文学部	面 接	12:30～	外国語（英語）	100	
				教科等	時 間	試験場								
外国語（英語）	10:00～11:00	人文学部												
面 接	12:30～													
面接(プレゼンテーション含む)	200													
合計	300													

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点		
教育学部	音楽教育 コース	総合Ⅰ	令和8年 9月18日(金) (第1次選考 結果通知日)	【第1次選考】 出願書類に基づいて、募集人員の3倍程度までの合格者を決定します。	出願書類	200	
	美術教育 コース			【第2次選考】 第1次選考に合格した者について、プレゼンテーション審査、実技、面接（口述試験含む）の結果と第1次選考の結果を総合して行います（※2）。 実技試験については、27～29ページのとおりです。	プレゼンテーション	100	
					実技	100	
					保健体育 コース	面接 （口述試験含む）	100
	出願書類	200					
		合計	500				
		医学部	看護学科	総合Ⅰ	令和8年 9月28日(月) (第1次選考 結果通知日)	【第1次選考】 志願者数が募集人員の3倍を超えた場合にのみ実施します。 活動報告書等の提出書類に基づいて、15名程度の合格者を決定し、調査書は合否判定の参考とします。	出願書類
【第2次選考】 活動報告書等の提出書類及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書は合否判定の参考とします。 活動報告書には、本学科の入学選抜方針に合致する資格・取組等を書いて提出してもらいます。 面接については、グループディスカッションと個別面接の2種類を実施します。							出願書類
	面接						200
	合計						300
工学部 総合工学科	電気電子 工学コース	総合Ⅰ	令和8年 9月27日(日)	出願書類、面接及び筆記試験（物理及び数学）の結果を総合して行います。	出願書類及び面接	200	
					筆記試験 （物理）	200	
					筆記試験 （数学）	200	
					合計	600	
	応用化学コース			出願書類、小論文、基本的な化学の実験及び面接の結果を総合して行います。	小論文	150	
					出願書類及び面接	250	
					合計	400	

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点	
生物資源学部 生物資源学科	生物資源総合科学コース	総合Ⅰ 紀伊黒潮枠	令和8年 9月27日(日)	グループディスカッションを含む面接及び出願書類によって選抜します。	出願書類及びグループディスカッションを含む面接	100

(※1) 人文学部の第2次選考における面接（プレゼンテーションを含む）の実施方法等の詳細については受験生応援サイトに掲載しますので必ず確認してください。なお法律経済学科についてはプレゼンテーションの指定様式も掲載します。

(※2) 教育学部の第2次選考におけるプレゼンテーション審査、面接の実施方法等の詳細については受験生応援サイトに掲載しますので必ず確認してください。

◎ 大学入学共通テストを課す

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点	
医学部	医学科	総合Ⅱ	令和8年 9月28日(月) (第1次選考結果通知日)	【第1次選考】 出願書類に基づいて、募集人員の4倍程度までの合格者を決定します。	出願書類	100
			令和8年 10月12日 (月・祝) (第2次選考試験日)	【第2次選考】 第1次選考に合格した者について、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して行います。	面接	100
			令和9年 2月10日(水) (第3次選考結果通知日)	【第3次選考】 第2次選考に合格した者について、令和9年度大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目の得点の合計が800点以上である者を合格者として決定します。 大学入学共通テストやその他の配点は31ページのとおりです。	大学入学共通テスト	1000
工学部 総合工学科	機械工学科	総合Ⅱ	令和8年 9月27日(日) (第1次選考試験日)	【第1次選考】 調査書、志願理由書、活動報告書及び面接の結果を総合し、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。 面接の評価によっては、総得点の順位に関わらず不合格となることがあります。	出願書類及び面接	100
			令和9年 2月10日(水) (第2次選考結果通知日)	【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対し、大学入学共通テスト(3教科5科目)の成績に基づいて決定します。なお、第1次選考の結果は第2次選考の評価には利用しません。 大学入学共通テストやその他の配点は32ページのとおりです。	大学入学共通テスト	500

学部・学科等		区分	選抜期日	選抜方法	配点	
工学部 総合工学科	情報工学科 コース	総合Ⅱ	令和8年 9月27日(日) (第1次選考 試験日)	【第1次選考】 出願書類及び面接の結果を総合し、募集人員の2倍 程度の合格者を決定します。	出願書類及 び面接	200
			令和9年 2月10日(水) (第2次選考 結果通知日)	【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対し、大学入学共通テスト (6教科8科目)の成績と、第1次選考の結果とを あわせて総合的・多面的に判定を行い、最終合格者を 決定します。 大学入学共通テストやその他の配点は32ページの とおりです。	大学入学 共通テスト	800
					第1次選考 結果	200
					合計	1000

教育学部実技検査の課題又は範囲等

【音楽教育コース】

音楽に関する以下の技能を審査し、総合点により評価します。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。なお，Ⅱで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また，卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。

Ⅰ 新曲視唱

臨時記号を含む8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後，ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 実技・選択

「声楽」または「ピアノ」または「鍵盤楽器以外の器楽」により，5分以内の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。いずれも反復記号がある場合は省略して演奏してください。なお，「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は，楽器の範囲を次のとおりとします。

フルート，オーボエ，クラリネット，（種類は問わない），サクソフォン（種類は問わない），バスーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，スネアドラム，マリンバ（ハ〜4点ハの4オクターブ），バイオリン，ビオラ，チェロ，コントラバス，リコーダー（種類は問わない），アコースティックギター（種類は問わない），三味線，尺八，鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した実技の内容（「鍵盤楽器以外の器楽」を選択した場合は楽器名）、曲名などの必要事項を本学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。なお、「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏する楽譜（声楽の場合はピアノ伴奏譜）を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。
- (3) 演奏時間が5分以上の曲を選択してもかまいません。その場合は、演奏を途中で止めることがあります。採点には影響ありません。
- (4) 「鍵盤楽器以外の器楽」で受験し、長休符を含む楽曲を演奏する場合は、試験では楽譜どおりの休符の長さにする必要はありません。適宜、休符を短くして演奏してください。
- (5) 「鍵盤楽器以外の器楽」で受験する場合は、楽器は原則として持参してください。

Ⅲ 実技・指定

『Ⅱ 実技・選択』で「声楽」を選択した受験生は①を、「ピアノ」を選択した受験生は②を、「鍵盤楽器以外の器楽」を選択した受験生は①または②のいずれかを受験してください。

①ピアノ

J. S. バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の1曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 選曲した曲の曲名（番号）、調性を本学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。

②声 楽

次のa. ～g. のの中から任意の1曲を1番の歌詞のみ歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。なお、歌唱にあたって調性は自由としますが、「注」(3)に記載のとおり、指定された出版社の中から選択するようにしてください。

- a. 赤とんぼ（山田耕筰 作曲）
- b. 荒城の月（滝廉太郎 作曲）
- c. 早春賦（中田章 作曲）
- d. 夏の思い出（中田喜直 作曲）
- e. 花（滝廉太郎 作曲）
- f. 花の街（團伊玖磨 作曲）
- g. 浜辺の歌（成田為三 作曲）

「注」

- (1) 試験当日のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 選択した作曲者名、曲名、調性を本学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入のうえ出願確認票とともに提出してください。
- (3) 原調・移調に関わらず受験曲のピアノ伴奏譜（音楽之友社、全音楽譜出版社、カワイ出版社のいずれか）を1ページの大きさA4判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

【美術教育コース】

素描試験を実施します。

※鉛筆等，描画用具を持参してください。

※モチーフ，画用紙は本学で用意します。

【保健体育コース】

走・跳・投などの基礎的体力，運動能力に関する下記の実技検査

〔50 メートル走，ハンドボール投げ，反復横とび，垂直とび，20 メートルシャトルラン〕

※5 種目すべてを受験してください。なお，評価の対象は記録上位の 3 種目とします。

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 50 メートル走は天候により立ち幅とびに変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等(総合型選抜)
人文学部

学部・学科等名 及び入学定員等			区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		選抜方法等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													備考
入文学部		文化学科	教科	科目名等	試験の区分		国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題 作文	面接	出願 書類	実技	配点合 計	
			総合Ⅰ (7人)	—	課さない	【第1次選考】 出願書類(志願理由書、志願者評価書、調査書等)の 内容を総合して行います。	【第1次選考】										100		100	
						【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対して、出願書類、筆記試 験(小論文)及び面接(プレゼンテーションを含む)の結 果を総合して行います。	【第2次選考】								100			100		
		法律経済学科	総合Ⅰ (5人)	—	課さない	【第1次選考】 出願書類(志願理由書、志願者評価書、調査書等)の 内容を総合して行います。	【第1次選考】										100		100	
						【第2次選考】 第1次選考に合格した者に対して、出願書類、筆記試 験(英語)及び面接(プレゼンテーションを含む)の結果 を総合して行います。	【第2次選考】									100		200		

令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等(総合型選抜)
教育学部

学部・学科専名 及び入学定員等		区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		選抜方法等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													備考
			教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	情報	小論文	プレゼン テーション審査	面接	出願 書類	実技	
教育学部	音楽教育コースの中等 教育選修	総合Ⅰ (1人)	—	課がない	【第1次選考】書類審査、書類審査に基づいて、募集人員の3倍程度までの合格者を決定します。														
	美術教育コースの中等 教育選修	総合Ⅰ (2人)			【第2次選考】プレゼンテーション審査、実技、面接(口述試験含む) 第1次選考に合格した者について、プレゼンテーション審査、実技、面接(口述試験含む)の結果と第1次選考の結果を総合して行います。	【第1次選考】									200		200		
	保健体育コースの中等 教育選修	総合Ⅰ (2人)												100	100	200	100	500	

令和9年度入学希望者の実施教科・科目等(総合型選抜)

医学部医学科			大学入学共通テストの利用教科・科目名等		選抜方法等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考					
学部・学科等名 及び入学定員等	区分 (募集人員)	国 地歴 公民 数 理 外 情 総合Ⅱ (5人) 医学部 医学科	教科	科目名等	【第1次選考】 調査書等に基づいて、募集人員の4倍程度までの合格者を決定します。 【第2次選考】 第1次選考に合格した者について、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して行います。 【第3次選考】 第2次選考に合格した者について、令和9年度大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目の得点の合計が800点以上である者を合格者として決定します。	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題作文	面接	出願書類	実技	配点合計					
			国	【地総・地歴・「歴総、日探」・「歴総、世探」 「公・倫」・「公・政経」 【教Ⅰ・教A」と【教Ⅱ、教B、教C】 【物】・【化】・【生】から2 【英】・【独】・【仏】・【中】・【韓】から1 情		【第1次選考】 調査書等に基づいて、募集人員の4倍程度までの合格者を決定します。 【第2次選考】 第1次選考に合格した者について、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して行います。 【第3次選考】 第2次選考に合格した者について、令和9年度大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目の得点の合計が800点以上である者を合格者として決定します。	【第1次選考】														100	100		
			国																					100
			国																					

令和9年度入学希望者の実施教科・科目等(総合型選抜)

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 (募集人員)	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		選抜方法等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
			教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題 作文	面接	出願 書類	配点 合計	備考
医学部	看護学科	総合Ⅰ (5人)	-	課さない	【第1次選考】 志願者数が募集人員の3倍を超えた場合にのみ実施 します。 活動報告書等の提出書類に基づいて、15名程度の合 格者を決定し、調査書は否判定の参考とします。	【第1次選考】											100	100	
					【第2次選考】 活動報告書等の提出書類及び面接の結果を総合して 行います。 活動報告書には、本学科の入学希望者選抜方針に合致 する資格・取組等を書いて提出してもらいます。 面接については、グループディスカッションと個別面接 の2種類を実施します。	【第2次選考】											200	100 ※3	300

※3 第1次選考を実施した場合には、第1次選考の結果を用います。

工学部総合工学科

		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														備考
コース (募集人員)	区分	教科	科目名等	選抜方法等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題 作文	出願書類 及び面接	資格 試験	配点合 計	
機械工学科 コース (5人)	総合Ⅱ	数 理 外 英	【教Ⅰ：数A】と【教Ⅱ：数B、数C】 【物】と「化」	【第1次選考】 調査書、志願理由書、活動報告書及び面接の結果を総合し、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。面接の評価については、総得点の順位にのみならず不合格とすることがあります。 【第2次選考】 【第1次選考】に合格した者に対し、大学入学共通テスト(3教科5科目)の成績に基づいて決定します。なお、第1次選考の結果は、第2次選考の評価には利用しません。	【第1次選考】										100		100	
			[3教科5科目]		【第2次選考】				200	200	100							500
電気電子工学 コース (8人)	総合Ⅰ	—	課さない	調査書、志願理由書、活動報告書、面接及び筆記試験（物理及び数学）の結果を総合して行います。	個別学力検査等				200	200					200		600	
応用化学コース (10人)		—	課さない	調査書、志願理由書、活動報告書、小論文、基本的な化学の実験及び面接の結果を総合して行います。	個別学力検査等								150		(#1) 250		400	
情報工学科 コース (5人)	総合Ⅱ	国 語 地歴 公民 数 理 外 英 情 報	【教Ⅰ：数A】と【教Ⅱ：数B、数C】 【物】と「化」 } から1 【教Ⅲ：数Ⅳ】と【公：倫／社会、保健】 【地総／地理】と【公民：倫／社会、保健】 【地総：地理】と【国総：日経】・【国総：世経】	【第1次選考】 調査書、志願理由書、活動報告書及び面接の結果を総合し、募集人員の2倍程度の合格者を決定します。 【第2次選考】 【第1次選考】に合格した者に対し、大学入学共通テスト(6教科8科目)の成績と、第1次選考の結果とをあわせて総合的・多面的に判定を行い、最終合格者を決定します。	【第1次選考】									200	200	200		
			[6教科8科目]		【第2次選考】			*50	200	150	150	200				200	1000	理科の配点は、物理100点、化学50点とする

令和9年度入学者選抜の実施
生物資源学部生物資源学科

コース (募集人員)	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		選択方法等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考		
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	課題 小論文	出願書類及びグループディス カッションを含む面接		配点 合計	実技
生物資源総合科 学コース (15人)	総合 I - 組伊黒朝仲	-	課さない	グループディスカッションを含む面接及び出願書類によ って選択します。	試験の区分 個別学力検査 等									100		100	

【教科・科目名の表記について】

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○地理歴史→地歴

「地理総合，地理探究」→「地総，地探」，「歴史総合，日本史探究」→「歴総，日探」，

「歴史総合，世界史探究」→「歴総，世探」，「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」

○公民→公民

「公共，倫理」→「公・倫」，「公共，政治・経済」→「公・政経」，

（「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」）

○数学→数

「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ，数A」，「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」，

「数学Ⅲ，数学B，数学C」→「数Ⅲ，数B，数C」

○理科→理

「物理基礎」→「物基」，「化学基礎」→「化基」，「生物基礎」→「生基」，「地学基礎」→「地基」，

「物理」→「物」，「化学」→「化」，「生物」→「生」，「地学」→「地」

○外国語→外

「英語」→「英」，「ドイツ語」→「独」，「フランス語」→「仏」，「中国語」→「中」，

「韓国語」→「韓」

○情報→情

「情報Ⅰ」→「情」

【大学入学共通テスト・教科・科目にかかる個別テスト等の配点等】欄

1. 配点に，＊印を付してある教科は選択教科を示します。
2. 教科・科目にかかる個別テスト配点欄の＃1の「出願書類及び面接」は，基本的な化学の実験を含みます。
3. 教科・科目にかかる個別テスト欄の＃2の第1次選考を行った場合には，第1次選考の出願書類の結果を用います。
4. 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には，高得点の教科・科目の得点を採用します。
ただし、『「地理歴史」「公民」』及び「理科」において複数科目を受験した場合は，それぞれの第1解答科目の得点を採用の対象とします。
第2解答科目については，第1解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。
5. 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」では同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
6. 大学入学共通テストにおける「英語」はリスニングが必須となっていますので，リスニングを受験しなければ，本学への出願資格がなくなります。（受験上の配慮によりリスニングを免除された場合を除きます。）

また、「英語」の得点については、以下のとおり取り扱います。

- (1) 大学入試センターから提供されたリーディングの成績（100 点満点）を 2 倍して 200 点満点とし、リスニングの成績（100 点満点）とを合わせて 300 点満点としてから、 $2/3$ を掛けて 200 点満点に換算します。
- (2) (1)で換算した得点を、学部・学科・コースが定めた配点にさらに換算します。
- (3) 「英語」以外の外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）は、大学入試センターから提供された成績（200 点満点）を、学部・学科・コースが定めた配点に換算します。

なお、受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績（100 点）を 2 倍して 200 点満点としてから各学部・学科等が定める配点に換算します。

9. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等のある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 申請方法

電話によりあらかじめ学務部入試チームに連絡した上で、本学受験生応援サイトの「障害等のある入学志願者の出願前相談申請について」より申請してください。

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/disabled-person/>



また、参考として「医師の診断書（写）」、「障害者手帳（写）」等をメールにて提出してください。

(2) 申請先

三重大大学学務部入試チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-5538

E-mail: nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

申請の時期

学部・区分		申請の時期
全学部	総合 I 総合 II	令和8年7月17日（金）まで

[土・日・祝日を除く]

(3) 受験上の配慮の例

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・試験場への乗用車の入構 | ・試験室を別室に設定 |
| ・車椅子の使用 | ・座席を最前列／最後列／出入口近く等に設定 |
| ・補聴器の使用 | ・試験室を障害者用トイレ近くに設定 |
| ・連絡事項の文書による伝達 | ・試験時間の延長 |

三重大大学の取り組み

本学では、「三重大大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

10. 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- A) 入学検定料を払い込んだが三重大大学に出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合(17,000 円)
B) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 (17,000 円)

<返還請求の方法>

本学受験生応援サイト(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder/index.html>)に掲載されている「入学検定料の返還について」にしたがって、返還手続きを速やかに行ってください。



返還には、「出願受付番号」が必要になりますので、「出願確認票（本人控え）」等を大切に保管してください。

11. 入学検定料の免除について

三重大学（以下「本学」という。）では、地震、事故及び台風等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、次のとおり入学検定料の免除の特例措置を講じます。

[対象者]

- (1) 令和8年4月以降、災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用を受けた地域で被災した者のうち、次のいずれかに該当するものとする。
 - ①主たる学資負担者が所有する自宅家屋等が全壊、大規模半壊、半壊又は、流出したもの
 - ②主たる学資負担者が死亡又は行方不明となったもの
 - ③主たる学資負担者が失職した場合
 - ④前三号に準ずる者であって、学長が相当と認めたもの

上記に該当される方は、「検定料免除申請書」を本学受験生応援サイトに掲載されている「入学検定料免除の特例措置について」からダウンロードし、関係書類を添え出願受付開始の1週間前までに（必着）申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日8時30分から17時15分の間に学務部入試チーム（059-231-9063）まで連絡してください。

12. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯し、試験室では白色のA4用紙に印刷された「本学受験票」を机上に置いてください。携帯しない場合には、試験室へ入室することはできません。
- (2) 不測の事態の発生により、当初の予定どおり試験を実施できなくなった場合は、本学受験生応援サイト（<https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/>）及びスマートフォン・携帯電話サイト（<https://daigaku.jp/mie-u/>）にてお知らせします。
- (3) 試験当日は、本学受験票に記載された集合時間までに指定された集合場所に到着して、当該試験場の掲示を熟読してください。

また、休憩時間及び試験終了後も掲示内容に注意してください。
- (4) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分を経過した場合は当該試験及びその後の受験は認めません。ただし、医学部医学科及び医学部看護学科の面接試験については、本学受験票記載の集合時間までに入室していない場合は、受験することができません。
- (5) 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認めません。
- (6) 試験中は、机の上には、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフを除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の所持品を置いてはいけません。
- (7) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってください。

試験時間中は、携帯電話等の電子機器類はかばん等にしまう必要があります。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- (8) 質問等がある場合は、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
- (9) 本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、

必ず公共の交通機関を利用してください。

なお、周辺地域への交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。

また、周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対にしないでください。

万が一、他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合、警察に通報させていただくことがあります。

13. 不正行為の取扱いについて

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。
- ① インターネット出願登録の際に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を使用したり、解答用紙に虚偽の記入をすること（出願書類に不正の事実があった場合も同様です。）。
 - ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
 - ④ 配付された問題冊子等を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子等を開いたり解答を始めたりすること。
 - ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑧ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14. 合格者の発表

本学受験生応援サイト及びスマホ・携帯電話サイトに「合格者受験番号一覧表」を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。

三重大学受験生応援サイト <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

スマホ・携帯電話サイト <https://daigaku.jc.jp/mie-u/>



学部・区分		合格者の発表日時
人 文 学 部	総 合 I	【第1次選考】 令和8年9月18日（金）10時頃 掲載期間は「令和8年9月18日（金）10時～10月9日（金）17時」です。
教 育 学 部		【第2次選考】 令和8年11月2日（月）10時頃 掲載期間は「令和8年11月2日（月）10時～11月13日（金）17時」です。
医 学 部 看 護 学 科		【第1次選考】 令和8年9月28日（月）10時頃 掲載期間は「令和8年9月28日（月）10時～10月9日（金）17時」です。
工 学 部		令和8年11月2日（月）10時頃 掲載期間は「令和8年11月2日（月）10時～11月13日（金）17時」です。
生 物 資 源 学 部		
医 学 部 医 学 科	総 合 II	【第1次選考】 令和8年9月28日（月）10時頃 掲載期間は「令和8年9月28日（月）10時～10月9日（金）17時」です。
工 学 部		【第2次選考】 令和9年2月10日（水）10時頃 掲載期間は「令和9年2月10日（水）10時～2月17日（水）17時」です。

・総合型選抜合格者への注意事項

- ① 次の「15. 入学手続(1)」で示された入学手続期間内に入学手続を完了してください。
- ② 総合型選抜の合格者は、次の③により許可された者を除き、本学及び他の国公立大学の個別学力検査を受験しても合格の対象とはなりません。
- ③ 合格した場合には必ず本学への入学を確約できる者を募集していますが、特別な事情によって入学辞退の必要が生じた場合には、大学入学共通テストを課さない総合型選抜（総合Ⅰ）合格者については令和8年12月24日（木）17時まで、大学入学共通テストを課す総合型選抜（総合Ⅱ）合格

者については令和9年2月17日（水）17時までに「総合型選抜入学辞退願」（様式は任意）を本学へ提出（郵送の場合は、簡易書留速達郵便）し、その許可を得た場合に限り、入学辞退を認めます。この場合を除き、出願済の本学及び他の国公立大学を受験しても合格の対象とはなりません。

- ④ 総合型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないまま放置することがないように留意してください。

15. 入 学 手 続

入学手続期間及び手続方法、入学手続に必要な書類等については以下のとおりです。

なお、入学手続の詳細については、総合型選抜合格者に対して後日送付する「三重大学入学手続きホームページ」のご案内により通知します。

(1) 入学手続期間及び手続方法

学部・区分		入学手続期間及び手続方法
人 文 学 部	総 合 I	【入学手続期間】 令和8年12月11日（金）～12月24日（木） （12月24日（木）17時までに本学必着） 【手続方法】 合格者に対し、別途通知します。
教 育 学 部		
医 学 部 看 護 学 科		
工 学 部		
生 物 資 源 学 部		
医 学 部 医 学 科	総 合 II	【入学手続期間】 令和9年2月10日（水）～2月17日（水） （2月17日（水）17時までに本学必着） 【手続方法】 合格者に対し、別途通知します。
工 学 部		

(2) 入学手続に必要な書類等

- ① 入学金 282,000 円（※納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。）
- ② 令和9年度大学入学共通テスト提出用受験票（大学入学共通テストを課す「総合Ⅱ」に合格した者のみ）
- ③ 国公立大学入学確認票（大学入学共通テスト「受験案内」にある「E 志望大学への出願に係る手続」を参照の上、共通テスト出願サイトから取得すること）（医学部医学科及び工学部の「総合Ⅱ」）
- ④ 提出書類（「三重大学入学手続きホームページ」のご案内を熟読してください。）

(3) その他必要となる諸経費について

- ① 授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）
 （※在学中に授業料の改定を行った場合には、改定した新授業料が適用されます。）

② その他諸経費

(a) 個人用ノートパソコン

三重大学では個人用ノートパソコン必携化の制度が導入されています。入学の際にはノートパソコンをご準備いただく必要がございますので、あらかじめご了承ください。

ノートパソコンの性能要件や必要な初期設定など、詳細は学部や学科等により異なりますので、入学手続きの際にご確認ください。

(b) 学生保険

本学が指定する保険に加入していただきます。実習など授業形態が異なるため、保険の内容及び金額については、学部や学科等により異なります。

(c) 教科書代等

授業に必要な費用が生じることがあります。

(d) 同窓会費等

入会は任意です。また、入学する学部や学科等によって内容や金額は異なります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

上記の諸経費以外にも学部や学科等によりその他の費用が発生する場合があります。

詳細は入学手続きの際にご確認ください。

16. 入学前教育

本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜（総合Ⅰ）は、年内に合格が決定します。

入学まで数か月間ありますが、早期に合格した方が大学入学後の学びへ円滑に移行できるよう、本学では、本学の大学入学共通テストを課さない総合型選抜（総合Ⅰ）による入学予定者のうち、工学部を合格した者を対象に入学後の専門的な学びに必要な基礎的な知識・技能、および主体的な学習姿勢を育成することを目的として、入学前教育を実施します。

入学前教育では、学部・学科の教育内容等を踏まえ、基礎的な学修内容の確認や、大学での学びを見据えた課題への取り組み等を行います。

入学前教育の具体的な内容、実施方法等については、合格通知書とともに別途通知します。

※入学前教育に際し、教材等に係る実費については、合格者本人の負担となります。

17. 入学料・授業料の減免、奨学金及び徴収猶予等

(1) 入学料・授業料減免及び給付奨学金について（留学生を除く）

大学等における修学の支援に関する法律に基づく「高等教育の修学支援新制度」において、住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯等は入学料・授業料の減免と給付奨学金の2つの支援を受けることができます。また、子ども3人以上を扶養する多子世帯は入学料・授業料無償化の対象となります。

高等学校等を通じて日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金予約採用の申請を行うか、入学手続き時に申請を行ってください。詳細は合格者に対して後日送付する本学の「三重大学入学手続きホームページ」のご案内をご確認ください。

① 進学する前年に高等学校等を通じて JASSO 給付奨学金に申請し、予約採用候補者となった方

入学手続き時に入学料及び授業料減免申請を受け付けます。入学手続き時に入学料を納入する必要はありません。入学後に給付奨学金の進学届の手続きを行ってください。

② 高等学校等で JASSO 給付奨学金の申請をしていない方

入学手続き時に入学料及び授業料減免申請を受け付けます。入学手続き時に入学料を納入する必要はありません。入学後に給付奨学金の新規申請手続きを行ってください。

高等教育の修学支援新制度の詳細については、下記 URL より各種ホームページの内容を必ず確認してください。

文部科学省ホームページ

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

日本学生支援機構奨学金ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

日本学生支援機構進学資金シミュレーター

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

(2) 入学料の徴収猶予について

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な方に対しては、本人の申請に基づき選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生支援チーム授業料免除担当 TEL 059-231-9678 (9:00～17:00)

(3) 奨学金について

学業成績及び人物ともに優れた学生で、経済的理由により修学が困難な方には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間育英団体の奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金は、高等学校等で申し込む「予約採用」のほか、大学進学後に申し込むことが可能ですので、詳細は三重大学ホームページをご確認ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/index-application.html>

18. 受験時の宿泊案内

本学の受験に際し宿泊を必要とする方は、各自で旅館等を予約してください。

なお、下記の機関を利用して予約することもできます。

津市ホテル旅館料理組合

〒514-0035 津市西丸之内1-1

ウェブサイト <https://www.e-tsu.net/>

TEL : 059-228-9029

FAX : 059-228-9029

19. 総合型選抜情報について

1. 採点・評価基準

人 文 学 部	総合	文化学科	出願書類	志願理由書，志願者評価書，調査書等の内容を総合して評価します。
			小論文	課題文をもとに，人文科学における様々なテーマに関する基礎学力，論理的思考力，読解力，表現力を評価します。
			面接 (プレゼンテーション含む)	探究的な活動についてのプレゼンテーション及び質疑応答を通じて，人間の文化または社会の動きやしぐみに関する関心・好奇心と意欲及び主体性，ならびに論理的思考力と表現力を評価します。
		法律経済学科	出願書類	志願理由書，志願者評価書，調査書等の内容を総合して評価します。
			外国語 (英語)	英語の課題文をもとに，基礎学力と読解力，表現力を評価します。
			面接 (プレゼンテーション含む)	探究的な活動についてのプレゼンテーション及び質疑応答を通じて，社会のしくみや現代社会の諸問題に関する関心・好奇心と意欲及び主体性，ならびに論理的思考力と表現力を評価します。
	I	学校教育教員養成課程 音楽教育コース	出願書類	活動報告書および志願理由書の内容を総合的に評価します。
			プレゼンテーション 審査	教員志望への熱意，教科の教育への関心，プレゼンテーション能力などを評価します。
			実技	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から総合的に評価します。 「注」課題又は範囲等については，別紙を参照してください。
			面接	教員志望への熱意，教科の教育への関心，コミュニケーション能力などを評価します。
		学校教育教員養成課程 美術教育コース	出願書類	活動報告書および志願理由書の内容を総合的に評価します。
			プレゼンテーション 審査	教員志望への熱意，教科の教育への関心，プレゼンテーション能力などを評価します。
			実技	美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，別紙を参照してください。
			面接	教員志望への熱意，教科の教育への関心，コミュニケーション能力などを評価します。
		学校教育教員養成課程 保健体育コース	出願書類	活動報告書および志願理由書の内容を総合的に評価します。
			プレゼンテーション 審査	教員志望への熱意，教科の教育への関心，プレゼンテーション能力などを評価します。
			実技	基礎的な体力・運動能力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，別紙を参照してください。
			面接	教員志望への熱意，教科の教育への関心，コミュニケーション能力などを評価します。
医 学 部	総合	医学科	書類審査	調査書，志願理由書，活動報告書などを総合的に評価します。
			プレゼンテーション 及び面接	1. 志願理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを評価します。 2. 医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。 3. 最新の医学研究または三重県の地域医療に対する関心度を評価します。
	I	看護学科	書類審査	調査書，志願理由書，活動報告書などを総合的に評価します。
			面接	1. 看護の視点を持ちながら，研究・開発・起業，発信・行動，国際社会での活躍に対する関心度を評価します。 2. 協調性，コミュニケーション能力，論理的思考，積極性，リーダーシップ/フォロアシップなどを評価します。 3. グローバル的な視野，社会貢献，そうぞう（想像・創造）力を評価します。

工 学 部	総 合	総 合 工 学 科 電 気 電 子 工 学 コ ー ス	出 願 書 類	調査書，活動報告書，志願理由書などを総合的に評価します。
			面 接	志願理由書や活動報告書に関連した質疑などを通し，学習意欲や探求心，基礎的知識，自己表現力などを評価します。
			筆 記 試 験	電気電子工学の基礎となる物理・数学の理解力を評価します。
	I	総 合 工 学 科 応 用 化 学 コ ー ス	出 願 書 類	調査書，活動報告書，志願理由書などを総合的に評価します。
			面 接	志願理由，活動報告書の内容，学習意欲や探求心，コミュニケーション能力，化学に対する関心や熱意などを評価します。また，基本的な化学の実験能力も併せて評価します。
			小 論 文	科学への関心と化学の知識，論理的思考，記述力などを総合的に評価します。
	総 合 II	総 合 工 学 科 機 械 工 学 コ ー ス	出 願 書 類	調査書，活動報告書，志願理由書などを総合的に評価します。
			面 接	機械工学に対する関心，熱意，学習意欲や探求心などを評価します。
		総 合 工 学 科 情 報 工 学 コ ー ス	出 願 書 類	調査書，活動報告書，志願理由書などを総合的に評価します。
			面 接	情報工学に対する関心，熱意，学習意欲や探求心などを評価します。
生 物 資 源 学 部	総 合 I 紀伊黒潮梓	生 物 資 源 学 科 生 物 資 源 総 合 科 学 コ ー ス	出 願 書 類	調査書，志願理由書，活動報告書を総合的に検討します。
			グループディスカッション を 含 む 面 接	出願書類とグループディスカッションを含む面接を通じ，コースへの理解，学習意欲，自己表現力，理解力，適性などを評価します。

注) 総合 I：大学入学共通テストを課さない

総合 II：大学入学共通テストを課す

2. 合否判定基準

人 文 学 部	総 合 I	文 化 学 科	[第1次選考] 出願書類（志願理由書、志願者評価書、調査書等）の内容を総合して合否を判定します。 [第2次選考] 第1次選考に合格した者に対して、出願書類ならびに筆記試験（小論文）及び面接（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して合否を判定します。
		法 律 経 済 学 科	[第1次選考] 出願書類（志願理由書、志願者評価書、調査書等）の内容を総合して合否を判定します。 [第2次選考] 第1次選考に合格した者に対して、出願書類ならびに筆記試験（英語）及び面接（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して合否を判定します。
教 育 学 部	総 合 I	学校教育教員養成課程 音 楽 教 育 コ ー ス	・各コース毎に総合得点の高い者から、合否判定をします。
		学校教育教員養成課程 美 術 教 育 コ ー ス	
		学校教育教員養成課程 保 健 体 育 コ ー ス	
医 学 部	総 合 II	医 学 科	[第1次選考] 出願書類の内容を総合的に判定します。 同点者は同順位とします。 [第2次選考] プレゼンテーション及び面接の結果を総合的に判定します。 同点者は同順位とします。出願書類は、合否判定の参考とします。 [第3次選考] 令和9年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。
		看 護 学 科	[第1次選考] 出願書類の内容を総合的に判定します。 同点者は同順位とします。 [第2次選考] 出願書類・面接の結果を総合的に判定します。 同点者は同順位とします。
工 学 部	総 合 I	総 合 工 学 科 電 気 電 子 工 学 コ ー ス	出願書類、筆記試験（物理及び数学）及び面接の結果を総合して合否を判定します。
		総 合 工 学 科 応 用 化 学 コ ー ス	出願書類、小論文、基本的な化学の実験及び面接の結果を総合して合否を判定します。
	総 合 II	総 合 工 学 科 機 械 工 学 コ ー ス	[第1次選考] 出願書類および面接の結果を総合して合否を判定します。 [第2次選考] 令和9年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。なお、第1次選考の結果は、第2次選考の評価には利用しません。
		総 合 工 学 科 情 報 工 学 コ ー ス	[第1次選考] 出願書類および面接の結果を総合して合否を判定します。 [第2次選考] 第1次選考の評価点数及び令和9年度大学入学共通テストの成績で合否を判定します。
生 物 資 源 学 部	紀 総 伊 合 黒 潮 梓 I	生 物 資 源 学 科 生物資源総合科学コース	グループディスカッションを含む面接及び出願書類の内容を総合して合否を判定します。

注) 総合Ⅰ：大学入学共通テストを課さない

総合Ⅱ：大学入学共通テストを課す

3. 入試成績の開示について

受験者本人からの申請に基づき、下記「開示内容」のとおり入試成績を開示します。

なお、試験を全部又は一部欠席した場合は、開示しません。

(1) 開示内容

開示項目	開 示 内 容
入学試験 個人成績	【大学入学共通テストを課さない場合】 ○ 工学部及び生物資源学部については、教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 ○ 人文学部，教育学部及び医学部看護学科の第1次選考合格者については，第1次選考の教科科目（書類審査等）の得点と並びに順位（注）と，第2次選考の教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 第1次選考不合格者については，第1次選考の教科科目（書類審査等）の得点並びに順位（注）を開示します。 【大学入学共通テストを課す場合】 ○ 工学部の第1次選考合格者については，第1次選考の教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）と，第2次選考の教科科目（大学入学共通テスト）ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び順位（注）を開示します。 第1次選考不合格者については，第1次選考の教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 ○ 医学部医学科の第2次選考合格者については，第1次選考の教科科目（書類審査等）の得点並びに順位（注）と，第2次選考の教科科目（面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）と，第3次選考の教科科目（大学入学共通テスト面接等）ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び順位（注）を開示します。 第2次選考不合格者については，第1次選考の教科科目（書類審査等）の得点並びに順位（注）と，第2次選考の教科科目（小論文，課題作文，面接等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 第1次選考不合格者については，第1次選考の教科科目（書類審査等）ごとの得点と合計点並びに順位（注）を開示します。 （注）順位 それぞれに順位を「A」（上位 1/3）「B」（中位 1/3）「C」（下位 1/3）でランクを付けて開示します。 なお，合格者及び不合格者がそれぞれ 10 名に満たない場合は，開示しません。

(2) 開示の方法

令和9年3月末頃に本学受験生応援サイトの「入試成績開示」にて掲載予定です。成績開示を希望する場合は、必ず確認の上、受験者本人が手続きを行ってください。

なお、成績開示を希望する場合は別途成績開示手数料が必要です。

詳細は以下のウェブページでご確認ください。

「入試成績開示」URL：<https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/disclosure/>



問い合わせ先

〒514-8507

津市栗真町屋町1577 三重大学学務部入試チーム

電話 059-231-9063

20. 個人情報の利用目的について

1. 本学における個人情報の利用について

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用目的は次のとおりです。

- ① 入学選抜に係る業務で利用します。
- ② 検定料の返還が生じた際に係わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ③ 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ④ 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係る業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ⑤ 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- ⑥ 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学金選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- ⑦ 入学手続者の修学指導等に関わる業務に利用します。
- ⑧ 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究及び広報活動等の業務で利用します。
- ⑨ 入試成績の開示に係る業務で利用します。
- ⑩ (対象者かつ希望者のみ) 障害等のある入学志願者との事前相談において取得した氏名、性別、生年月日、住所及び障害等に係る個人情報を、本学に入学した場合に限り修学支援業務で利用します。

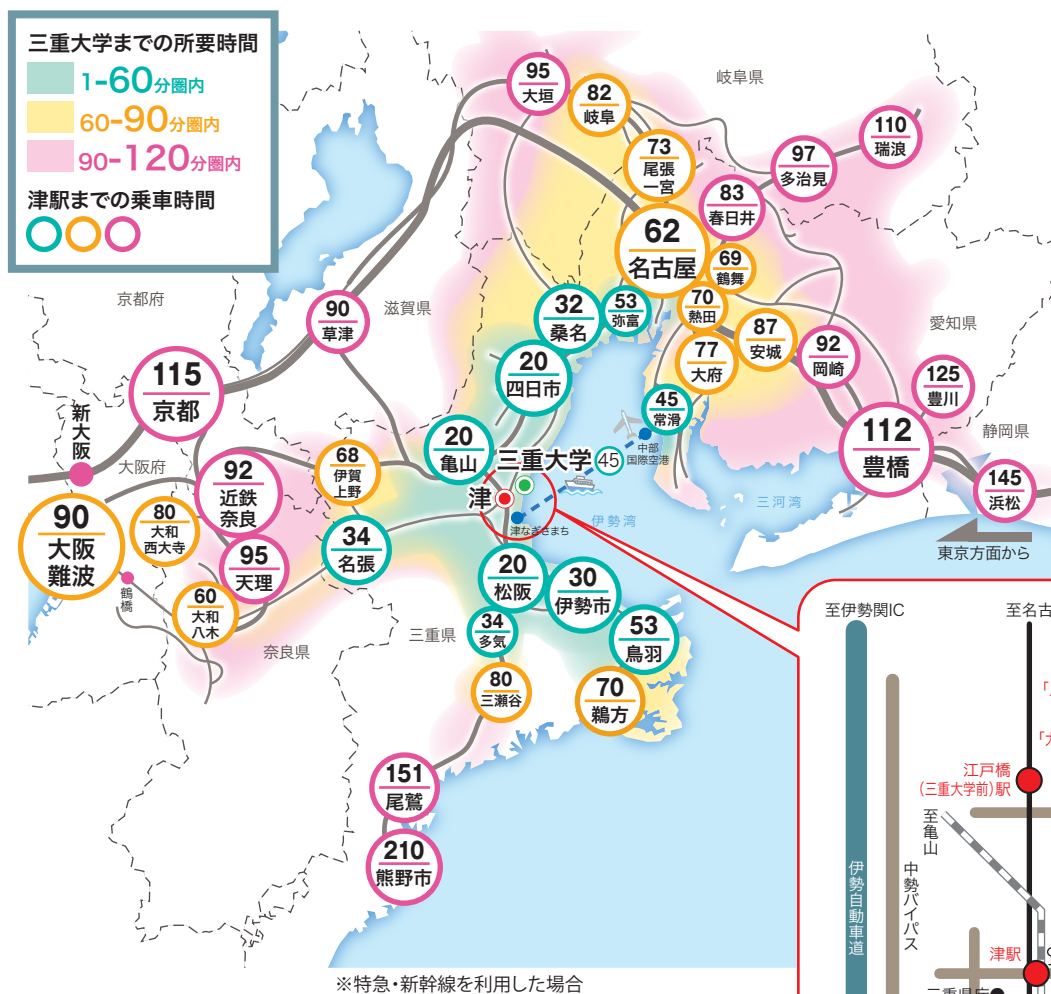
2. 独立行政法人大学入試センターへの個人情報の提供について

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合格者及び入学手続者の氏名、性別、生年月日、本学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号が、独立行政法人大学入試センター及び合格者の併願先の国公立大学に提供されます。

本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、本人の同意を得ることなく、上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

江戸橋駅
(三重大学前)

三重大学へのアクセス



「三重大学前」バス停



江戸橋(三重大学前)駅



津駅



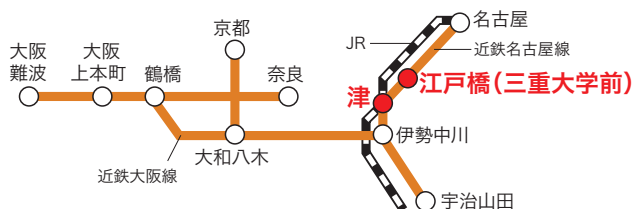
交通案内

● 東京方面から

JR「新幹線のぞみ」で

東京より **JR東京駅** 約100分 **JR名古屋駅** JR名古屋駅からはJR、近鉄とも利用出来ます。

● 名古屋、大阪、京都方面から



近鉄電車「急行」で

名古屋より **近鉄名古屋駅** 約60分 **江戸橋** 徒歩
京都・大阪より **伊勢中川駅** 約15分 **江戸橋** 約15分

近鉄電車「特急」で

名古屋より **近鉄名古屋駅** 約50分 **津** 徒歩
大阪より **大阪難波駅** 約90分 **津** 約15分
京都より **京都駅** 約110分 **津** 約15分

JR「快速みえ」で

名古屋より **JR名古屋駅** 約50分 **津** タクシー 約10分

三重大学

周辺交通案内

● 江戸橋(三重大学前)駅から

徒歩約15分

● 津駅から

1. バスで約15分

三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)「高田高校前」(56系統)行きに乗車、「三重大学前」下車。
(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)

2. タクシーで約10分

● 中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ45分

1. 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
2. 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください

<https://www.mie-u.ac.jp>



三重大学への各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等

月曜日から金曜日（土・日・祝日は除きます。）

8時30分から17時15分まで

○入学試験に関すること

三重大大学務部入試チーム

TEL 059-231-9063

E-mail nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

（入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

○授業科目・学修に関すること

三重大大学各学部学務担当

人文学部

TEL 059-231-9197

教育学部

TEL 059-231-9319

医学部医学科

TEL 059-231-5063

医学部看護学科

TEL 059-231-5239

工学部

TEL 059-231-9469

生物資源学部

TEL 059-231-9631

○奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

三重大大学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9061

○入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

三重大大学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9678

○学生寮に関すること

三重大大学務部学生支援チーム

TEL 059-231-5371

○就職に関すること

三重大大学務部キャリア支援チーム

TEL 059-231-9654

○入学料及び授業料納付に関すること

三重大大学財務部財務企画チーム

TEL 059-231-9028

○三重県医師修学資金に関すること

三重大大学医学・病院管理部

学務課学務第一係

TEL 059-231-5063

三重県 医療保健部 医療人材課

TEL 059-224-2326

三重大大学学務部入試チーム

〒514-8507

津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9063

FAX 059-231-5382

三重大大学受験生応援サイトをご覧ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

